

〔中津川市市民協働指針〕

なかつがわ市民協働の手引き



平成27年3月

もくじ

はじめに ～策定のねらい～	2 ページ
1. 協働とは何か ◆協働のイメージ	3 ページ
2. なぜ協働を進めるのか ◆協働が求められる社会的背景 ◆住んでよかったと思えるまちづくりのために	4 ページ
3. 協働の領域と種類 ◆協働の取り組む領域 ◆市民の強みと行政の強み ◆協働の種類	5 ページ
4. 中津川市で求められている協働とは ◆10年後の中津川市は??・・・ ◆協働を前進させるために必要なものは? ◆中津川市で求められている動きは?	8 ページ
5. 協働を進めるために ◆進めるための4つのステップ ◆よりよい協働を進めるためのチェックリスト	11 ページ
おわりに	22 ページ
関連資料	23 ページ

はじめに ～策定のねらい～

「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる中津川」の実現

平成 25 年度に策定された「中津川市総合計画」(計画年次:H27 年度～H38 年度)では、将来都市像として『かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる中津川』の実現をめざし、「市民の声と力を新しいまちづくりに積極的に生かしていくため、市民や地域、行政などが協働し、市民活動の支援、市民活動ネットワークの充実、推進のための環境を整え協働のルールづくりに取り組む」ということが示され、今後、協働の取り組みを確実なものにするために指針を定めることとしています。

そこで、平成 26 年度に『市民参画による協働の指針策定委員会(以下、「策定委員会」という)』を立ち上げ、協働の理解を深めるための指針を作成するため、協働の必要性などについて話し合いを行いました。

策定委員会では、社会情勢が変化している今だからこそ、活動するもの同士の情報共有やつながりが大切であり、異なる活動をするもの同士であっても中津川を良くしたいという想いは共通する部分が多くあるため、自分たちの得意な部分を活かしつつ、様々な機関と手を取り合い活動していくことが大切であるとの意見が聞かれました。

そこで、実際に活動を進めるにあたり、多くの人に活用していただけるものにしよう！という観点で、将来都市像を実現するために、指針となるこの手引きを策定することとしました。

※協働指針策定委員会の様子



※平成 26 年度に市民参画による「市民協働指針策定委員会」を 6 回開催しました。

1. 協働とは何か

◆協働のイメージ

「協働」という言葉は、市が策定している条例や規則など様々なところで使われていますが、現在のところ中津川市として統一的に定義されたものではなく、「協働」のイメージは人によって様々です。

言葉を聞くのも初めてといった方には、「協働？ 協力して働く・・・ どういうこと??」、「よくわからないけど大変そうだなあ・・・」、「何か難しいことをやらされるのかなあ・・・??」などのイメージをお持ちの方もいるのではないのでしょうか。

そこで、策定委員会において、「協働とは(何か・どんなイメージか)」などについて意見を出し合いました。

【協働とは何か（どんなイメージか）】

- ・皆さんとの話し合い ・働きかけていくこと ・みんなと共に行動すること
- ・目的意識を共有し、互いに対等な立場でまちづくりのために活動すること
- ・行政と民間が対等な立場でまちづくりのために知恵をしぼること
- ・地域住民と行政が助け合いまちをつくる合意形成のこと ・相乗効果

(策定委員会での意見より集約)

【なぜ協働が必要なのか】

- ・得意な分野を活かし力をあわせることで、今よりもうまくいくから
- ・お互いを理解する、足りないところをおぎなう、つながるため
- ・自治の回復 ・民間公益の推進 など

(策定委員会での意見より集約)

これらの意見などを参考にし、今後、当市において協働のまちづくりを進めていくために、中津川市としての「協働」を次のように整理しました。

◆協働の定義

★協働の定義★

『事業の主体となる市民や行政が、それぞれの持つ特性などを活かしながら、目的を共有し、互いに対等な立場で認め合い、連携・協力し、よりよい方向に進めること』



※「協働」は、取り組みを進めるための手段です。

2. なぜ協働を進めるのか

◆協働が求められる社会的背景

〈生活スタイルとコミュニティの現状〉

現在私たちの生活は、単独世帯や共働き世帯が増え、生活のスタイルが多様化してきています。またサービス業など24時間営業、また正月三が日から営業するなど、労働スタイルも多様化しています。そのような背景もあり、地域の中での交流などを重ねる機会も減少し、コミュニティ意識が弱くなってきています。

〈見直される自治のあり方〉

元来、市民と市民の間で解決できることは、その関係の中で解決し、どうしてもできない課題を行政が担っていましたが、次第に行政の担う役割が大きくなる一方で、市民は地域の担い手としての権限や主体性が弱くなってきました。

しかしながら、近年起こった大災害をきっかけに、行政としての役割を市民団体や NPO が代替し、公共の担い手として機能したこと、自分たちができることはまず自分たちで行うという意識が再認識されたことなどから自治のあり方が見直されつつあり、市民や地域が積極的に提案し、意思決定に参加し、実施も検証も担う、本質的な自治が実現できる地域へ戻ることが求められています。

◆住んでよかったと思えるまちづくりのために

将来都市像の実現のためには、そこに住んでいる市民自らが「住んでよかった」と思えるまちをつくる必要があります。そのためには、地域コミュニティの活性化と本質的な自治の実現が鍵であり、市民と行政の両方が主体となり、互いに対等な立場でまちづくりを行うこと大切です。それぞれが持っている知恵や技術、経験、情報などを十分に活かし、連携・協力しながら、地域の自立化に向けて、まちづくりを進めるために「協働」がとても大切であることを認識し、協働が可能な様々な分野において協働の取り組みを進める必要があります。(参照 27 ページ)

※ 協働の取り組みには、民間同士の協働の取り組みもありますが、今回は、中津川市総合計画の将来都市像の実現のため、市民と行政の協働の取り組みについてまとめています。



3. 協働の領域と種類

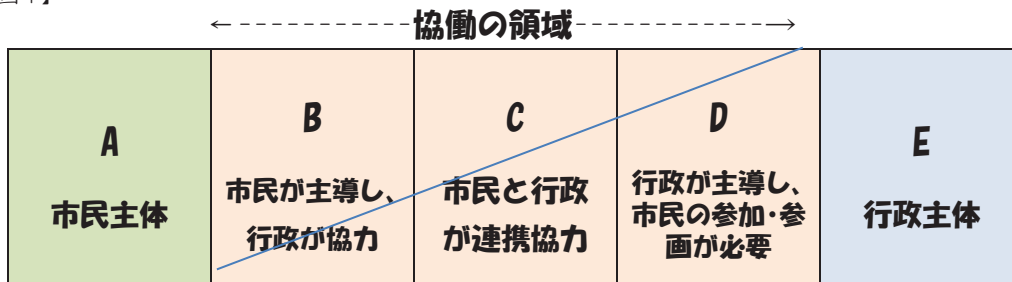
◆協働の取り組む領域

協働は、どのような場合に取り組みが可能になるのでしょうか。

様々な取り組みには、誰が主体で解決すべきかという「責任領域」があります。

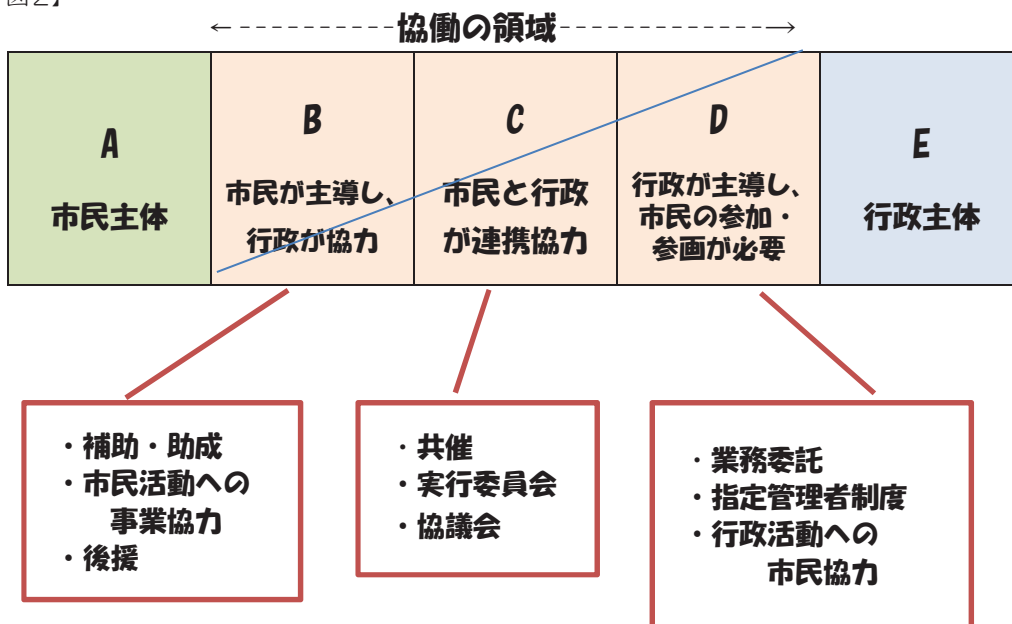
図1は、その領域を示したものであり、Aの市民が主体となって解決するものから、Eのように行政が主体となって解決するものがあり、市民と行政との協働で取り組むものは、BからDの領域で行われます。

【図1】



また、協働の形態は、図2のように、その領域ごとに「補助(助成)」「後援」「共催」「委託」など、様々なものがあり、市民や行政が互いの強みを活かせるよう、互いに話し合い適切なものを選びます。

【図2】



◆市民の強みと行政の強み

市民や行政の互いの強みとは一体どんなものがあるのでしょうか。

策定委員会では、市民と行政の強みを下記のように整理しました。

◆市民の強み

- ・発想が豊かであり、自由な意見を述べることができ、行動力がある。
- ・幅広い意見が出やすい。
- ・地域などのニーズや資源を熟知していることや、無尽など地域内でのつながりがある。また色んな知識をもった人材が豊富である。
- ・公平性や平等性の枠を超えた事業を行いやすい。
- ・失敗を恐れず、試して実行できる。
- ・市民への口コミや、まきこみが上手である。
- ・柔軟性があり、事業を拡大しやすい、また継続しやすい。
- ・より現場に近い

(策定委員会での意見より集約)

◆行政の強み

- ・法令等制度に詳しく、条例や規則などの作成能力が高い。
- ・組織力があり、仕事として動ける。
- ・予算があり、施設を保有している。
- ・公的な信頼性が高く、広報やメールなどのメディアによる発信がある。
- ・地域を横断しやすく、地域の枠を超えて団体等同士をつなげることができる。
- ・全市的に、地域活動を行う人たちを把握している
- ・国や県など、他部署への協議が容易にできる。
- ・国や県などの次年度の予算や新規制度の情報をいち早く入手し、既存制度も含めて熟知している。

(策定委員会での意見より集約)

こうして整理してみると、それぞれの強みの違いが明確です。異なっているからこそ、その強みをしっかり理解し、連携することが協働の取り組みを成功させる秘訣になります。



◆協働の種類

- ▼補助 … 資金面で課題を抱えている活動に対して、共通の目的を達成するために、他のパートナーが資金の支援を行う形態。補助をする、補助を受け取るという立場の違いから対等性が失われやすいので、お互いに注意が必要です。

例)がんばる地域サポート事業、各種イベント補助 など

▼事業協力・協定

- … パートナー同士が、それぞれ持つ特性を活かし、一定期間、継続的に協力して事業を実施する形態。

例)中津川市と中京学院大学との連携に関する協定

市と区長会連合会の連携に関する協定書

災害連携協定 など

- ▼後援 … 主催者の実施する事業に対して、他のパートナーがその趣旨に賛同し、開催を援助する形態。基本的に金銭的な支出は伴いませんが、他のパートナーから後援を受けることで、その事業の社会的な信頼や認知度が高まり、効果的に実施することができます。

例)PTA 主催事業、各種団体主催による講演会 など

- ▼共催 … 複数のパートナーが、協働で事業を行う形態。それぞれの専門性を活かすことができるので、単独開催よりも充実が図られます。

例)防災講演会、演劇 CAMP など

- ▼実行委員会・協議会 … 複数のパートナーが構成員となって新たな主催団体をつくり、事業を企画・立案・運営(実施)、総括まで一貫して行う形態。

例)おいでん祭実行委員会、六斎市実行委員会 など

▼委託・指定管理者制度

- … 行政が担うべきことについて、事業の実施にふさわしいパートナーの専門性や柔軟性などの特徴を活かして、より効果的な取組とするため、事業の一部または全部を委託する形態。

例)ファミリーサポートセンター運営委託、

公共施設の管理運営委託 など

協働を進めるには、このようにいくつかの種類が存在します。いずれの種類を選択するにあたって、前に述べたそれぞれの強みをしっかり把握し、役割分担を決めることが大切です。

4. 中津川市で求められている協働とは

◆10年後の中津川市は??...

中津川市においても、社会情勢の変化(少子高齢化、役員の担い手不足等)はおきていますが、このまま何もしなかったら、このまち中津川市はどうなるでしょうか。

協働指針策定委員会の意見をもとに、10年後の中津川市について、次の2つのパターンを想像し、将来どうなっているかをまとめました。

▼イメージ1：「何も対策せず、時代の流れに身を任せて訪れる10年後」

【想像する中津川のイメージ1】

- ・人口の減少
- ・少子高齢化
- ・若者の都市部への流出増加
- ・自治会の防災力の減少
- ・道路等の劣化等生活環境の悪化
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・介護する人が大変になる
- ・伝統文化などの継承ができなくなる
- ・耕作農地の減少
- など

(策定委員会での意見より集約)

▼イメージ2：「協働を進めて時代の流れをうまくのりこいた望ましい10年後」

- ・市民のまちづくりの意識が高まり、地域などが活性化する
- ・人の集まる場ができ、まちが賑やかになる
- ・多くの人が中津川に来る(住む)
- ・道路等の整備が進み住民の利便性が向上する

(策定委員会での意見より集約)

望ましいまちにしていくため手法として「協働」があります。
どんな未来にしたいかを、今一度考えてみましょう。



◆協働を前進させるために必要なものは？

次に、協働の取り組みを前進させるには、何がどう必要なのでしょうか。
委員会において議論した内容を下記のとおりまとめました。

【必要なもの】

短期的視野で組むべきこと

【制度・仕組み的なもの】

- ◆ 市民と市民、市民と行政の
合意形成の場づくり
- ◆ 合意形成した内容を支援する
仕組み
- ◆ 地域リーダーの育成
- ◆ 主体性という意識の向上
- ◆ 女性・若者の参画

【具体的なもの】

- ◆ 市民活動活性化の各種講座、
研修会の実施
- ◆ 市民からの相談対応
(助言・指導)
- ◆ 支援のための財源確保
- ◆ 助成情報等の情報提供

(策定委員会での意見より集約)

中期的な視野で取り組むべきこと

【制度・仕組み的なもの】

- ◆ 自治意識の見直し
- ◆ 地域活動や会議等への参加促進
- ◆ 教育現場との連携
- ◆ 商工関係団体との連携
- ◆ 市職員のコーディネート力向上
- ◆ 地域づくりへの提案
- ◆ 地域に若者が残れる対策

【具体的なもの】

- ◆ 市民活動や取り組み団体の周知
- ◆ 高齢者の見守り組織の充実
- ◆ イベントの実施(イベント内容の充実)
- ◆ 伝統文化等の継承
- ◆ 地域資源(観光・文化等)の活用
- ◆ 世代間交流の実施
- ◆ 公有施設の有効利用
- ◆ 新しい制度の情報収集

協働の取り組みを前進させるためには、市民と市民、市民と行政などの合意形成のため
に対話ができる機会や場づくり、そしてそれを実行に移すための支援制度や、法令関係や
助成情報の提供、困ったときに気軽に相談できる窓口、まちづくりの考え方などが学べる機
会などが求められています。

それぞれの強みを活かし、望ましい未来に向けて何ができるのかを考えてみましょう。

◆中津川市で求められている動きは？

中津川市は平成 17 年に7ヶ町村と合併し、15 の地域に区分けされ、その地域ごとに伝統や自然等々があります。また約十年後には、リニア中央新幹線の間駅が建設されるなど、生活環境の変化もみられるようになります。それぞれの地域において、地域の良さを後世につなぐため、今よりもよりよいまちにするために自分たちがこうしたい、こうありたいと願う姿にしていくために、協働の考え方が必要となります。

中津川市で求められている協働の取り組みは、リニア中央新幹線に象徴されるように、これからの環境変化に耐えうる地域づくり、まちづくり、そして地域の枠を超えて中津川市を活性化させることができる取り組みが必要です。また、地域の資源の再確認や発見、そしてそれを後世に伝える取り組みが求められています。

人口減少社会において、いかに人を減らさないようにするか、それは、今中津川市に住んでいる私たちが、協働の取り組みを通して、中津川市の地域資源や良さを再確認しながら活用し、中津川市に住んでよかったといえる取り組みを行うことが大切です。

*** 参考 ***

中津川市では、すでに協働の取り組みを実施しているところがあります。

参考として、策定委員会で出された意見から、最近当市で行われている協働の取り組みを紹介します。

【中津川市で取り組まれている協働の取り組み(紹介)】

- ◆地域のまちづくり協議会で策定した「地域づくりビジョン」の見直しの取り組み
【神坂地区】
- ◆城など観光資源を活かした地域活性化の検討【苗木地区】
- ◆商店街活性化の取り組み
(景観を活かした取り組みや昔ながらのイベントの復活など)【中津・本町地区】
- ◆防災助け合いマップの作成【中津地区】
- ◆がんばる地域サポート事業
- ◆各種実行委員会(おいでん祭実行委員会・六斎市実行委員会など)
- ◆各種講演会(PTA 主催講演会、防災講演会など)
- ◆公共施設の指定管理運営委託 など

5. 協働を進めるために

◆進めるための4つのステップ

協働の取り組みを進めるためには、下記の4つの段階があります。



第1段階は「準備の準備」。この段階では、まずはニーズ調査を行い、課題の共有をします。その後、取り組みの方向性や、自分たちが何をすべきなのかを確認し、事業の目的を明確にします。

この段階では、問題や課題の当事者(関係する人たち)と議論することが大切になります。

次に、第2段階「準備」。ここでは、事業の目的を達成するための事業計画や予算を立てます。また、実施するにあたっての役割分担などの確認作業もこの段階で行います。

そして、ようやく「実施」。

最後に、第4段階として「評価」を行います。事業が実施できたことで、完了してしまうイメージもありますが、協働の取り組みを次につなげるためには、この作業が重要になります。

関係した皆さんで、実施した取り組みの反省と、次回実施するにあたっての改善点などを明確にしておき、まとめておくと、次に行う取り組みがよりよいものとなります。



◆よりよい協働を進めるためのチェックリスト

では、どんなことに気を付けて活動をはじめたらいいの？

そんなみなさんの声にお応えするため、また取り組みを始めたい方への参考として、活動における留意点をリストにしたものをお示します。

前に述べた4つのステップごとに、どのようなことに気を付けて取り組んだらいいかを示していますので、一緒に行動される方々や、相手方との話し合いの時などにご活用ください。

<チェックリストの一覧>

■何か行動したいなどと思ったら

- ・やりたいこと、やってみたいことを書き出してみよう！！

■市民や地域が主体となって取り組む場合

1. 補助金を活用

- ・市民編(チェックリスト 1-1)
- ・行政編(チェックリスト 1-2)

2. 後援など

- ・市民編(チェックリスト 2-1)
- ・行政編(チェックリスト 2-2)

■市民や地域が行政と連携して取り組む場合

3. 共催など

- ・市民編(チェックリスト 3-1)
- ・行政編(チェックリスト 3-2)

■市民や地域が行政と委託などにより取り組む場合

4. 委託・指定管理など

- ・市民編(チェックリスト 4-1)
- ・行政編(チェックリスト 4-2)



～ 何か行動したいなと思ったら ～
やりたいこと、やってみたいことをまず書き出してみよう！！

段階	【CHECKする人(主語)】 市民・地域は・・・	メモ欄	CHECK欄
1.課題 の整理	1 表面上の課題はどんなことですか		<input type="checkbox"/>
	2 その課題を共有できましたか		<input type="checkbox"/>
	3 その課題が起きた背景は何ですか		<input type="checkbox"/>
	4 その背景を仲間と共有できましたか		<input type="checkbox"/>
	5 その課題の利害関係を有する人を全て洗い出せましたか		<input type="checkbox"/>
	6 課題が解決されたイメージはできましたか		<input type="checkbox"/>
	7 そのイメージを仲間と共有できましたか		<input type="checkbox"/>
	8 課題を把握してできましたか		<input type="checkbox"/>
2.取組 の整理	9 何か取り組みを開始できたら、おおむね10年以内にどんな姿を目指しますか		<input type="checkbox"/>
	10 そのためにどんなことをする必要がありますか		<input type="checkbox"/>
	11 上記の中から自分たちがしたいことは何ですか		<input type="checkbox"/>
	12 自分たちでできそうなことはどんなことですか		<input type="checkbox"/>
	13 この事業でどんなことを解決したいですか その訳を説明できますか		<input type="checkbox"/>
	14 それらを必要としている人はどのような人ですか		<input type="checkbox"/>
	15 事業の主体は誰にしますか		<input type="checkbox"/>
	16 協力を求める団体などはありますか		<input type="checkbox"/>
	17 自分たちで資金を集めて工夫できそうなことはありますか		<input type="checkbox"/>
	18 行動を始める前に学んでおきたいことや、似た取り組みをしているところはありませんか		<input type="checkbox"/>

<チェックリスト1-1> 市民や地域が主体で取り組む場合【補助金を活用する場合】

段階	【CHECKする人(主語)】 市民・地域は・・・	CHECK欄
1.準備の準備	1 関係者で、何をどのようにしたいのか、意見を出し合いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 上記の話し合いで、取り組みたい方向性を関係者みんなで確認できましたか	<input type="checkbox"/>
	3 そのために、自分たちができること(活用できる備品や特技)などを確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	4 行政に補助金について相談しましたか	<input type="checkbox"/>
	5 補助金の制度を理解し、年間スケジュールを把握しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 行政との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 取り組みの対象となる人の声を聞くなど、ニーズの把握を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組みの計画を立てましたか	<input type="checkbox"/>
	3 また上記計画に対する予算をたてましたか	<input type="checkbox"/>
	4 補助金等以外に、予算を確保する見込みがつかえましたか	<input type="checkbox"/>
	5 補助金等の申請を行い、補助金の金額の確認ができましたか	<input type="checkbox"/>
	6 取り組む仲間と取り組み内容等の情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	7 また、取り組み開始時の課題や問題を把握していますか	<input type="checkbox"/>
	8 取り組む仲間同士で役割分担が明確にできましたか	<input type="checkbox"/>
	9 取り組みの対象となる人に取り組みの周知ができましたか	<input type="checkbox"/>
	10 自らが主体となり、準備は万全ですか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組み計画のとおり実施されていますか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組み内容に変更が生じた場合、行政にすぐに相談していますか	<input type="checkbox"/>
	3 予算計画どおりに進められていますか	<input type="checkbox"/>
	4 活動途中で、取り組み状況などについて、関係者と情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	5 活動記録(写真等)を撮りましたか	<input type="checkbox"/>
	6 自ら進んで積極的に行動していますか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 取り組み計画のとおり実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	2 参加者に対して、アンケートをとるなど、取り組みを評価してもらいましたか	<input type="checkbox"/>
	3 関係者で、取り組みについての反省を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	4 また上記の反省で良かった点や改善が必要な点が取り組んだ関係者で共有できましたか	<input type="checkbox"/>
	5 役割分担どおりに実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	6 補助金等の活動報告をしましたか	<input type="checkbox"/>
	7 また、補助金請求を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	8 次回また取り組んでみようという気持ちはありますか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト1-2> 市民や地域が主体で取り組む場合【補助金を活用する場合】

段階	【CHECKする人(主語)】 行政は……	CHECK欄
1.準備の準備	1 担当窓口を明確にし、市民が相談に訪れやすい状況を作っていますか	<input type="checkbox"/>
	2 補助金等制度の内容やスケジュールを説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 わかりやすい言葉で説明していますか	<input type="checkbox"/>
	4 相談者からの相談内容を把握し、アドバイスしましたか	<input type="checkbox"/>
	5 関係する部署との連携ができましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民や地域との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民活動の民間助成支援制度など市民や地域が必要な情報を提供していますか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 市民や地域の取り組みの目的を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 また、上記取り組みに対する実施計画内容(予算も含む)を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 上記の計画内容に対し、実施の方向に向けての必要な助言などを行いましたか	<input type="checkbox"/>
	4 取り組み計画に対し、遵守すべき法律等の確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	5 補助金制度の内容と支払時期について説明しましたか。	<input type="checkbox"/>
	6 補助金の概算払いが可能な場合、相談者にその内容を伝えましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民や地域との関わり方を再度確認しましたか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 地域や市民団体等へのお金の丸投げになっていませんか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組みの途中経過等の状況を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 困っていることなどが無いかなど、声かけをしましたか	<input type="checkbox"/>
	4 必要があれば、イベントなどの現場へ訪れましたか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 市民や地域から活動の様子を伺いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 活動の様子を記録写真等で確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 市民や地域から、取り組みの感想等を聞きましたか	<input type="checkbox"/>
	4 市民や地域の取り組んだ方が、どんなことが大変だったとか、苦勞したことなどについて、情報共有ができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 取り組みの予算計画に対する収支確認をおこないましたか	<input type="checkbox"/>
	6 また、上記については、必要な領収書等の確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	7 全体を通じ、行政の対応についての意見を確認しましたか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト2-1> 市民や地域が主体で取り組む場合【後援など(補助金なしの場合)】

段階	【CHECKする人(主語)】	CHECK欄
	市民・地域は・・・	
1.準備の準備	1 関係者で、何をどのようにしたいのか、意見を出し合いましたか。	<input type="checkbox"/>
	2 上記の話し合いで、取り組みたい方向性を関係者みんなで確認できましたか	<input type="checkbox"/>
	3 そのために、自分たちができること(活用できる備品や特技)などを確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	4 行政へ後援や支援について相談しましたか	<input type="checkbox"/>
	5 後援など行政の支援についての制度を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 行政との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 取り組みの対象となる人の声を聞くなど、ニーズの把握を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組みの計画をたてましたか	<input type="checkbox"/>
	3 また上記計画に対する予算をたてましたか	<input type="checkbox"/>
	4 予算を確保する見込みがつかえましたか	<input type="checkbox"/>
	5 取り組む仲間と取り組み内容等の情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	6 また、取り組み開始時の課題や問題を把握していますか	<input type="checkbox"/>
	7 取り組む仲間同士で役割分担が明確にできましたか	<input type="checkbox"/>
	8 後援など必要な書類を作成し、提出しましたか	<input type="checkbox"/>
	9 取り組みの対象となる人に取り組みの周知ができましたか	<input type="checkbox"/>
	10 自らが主体となり、準備は万全ですか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組みの計画どおりに実施されていますか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組み内容に変更が生じた場合、関係機関(行政も含む)にすぐに相談していますか	<input type="checkbox"/>
	3 予算計画どおりに進められていますか	<input type="checkbox"/>
	4 活動途中で、取り組み状況について、関係者と情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	5 活動記録(写真等)を撮りましたか	<input type="checkbox"/>
	6 自らが進んで積極的に行動していますか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 取り組み計画のとおり実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	2 参加者に対して、アンケートをとるなど、取り組みを評価してもらいましたか	<input type="checkbox"/>
	3 関係者で、取り組みについての反省をおこないましたか	<input type="checkbox"/>
	4 また上記の反省で良かった点や改善が必要な点が取り組んだ仲間で共有できましたか	<input type="checkbox"/>
	5 役割分担どおりに実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	6 後援などの活動報告をしましたか	<input type="checkbox"/>
	7 次回また取り組んでみようという気持ちはありますか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト2-2> 市民や地域が主体で取り組む場合【後援など(補助金なしの場合)】

段階	【CHECKする人(主語)】 行政は……	CHECK欄
1.準備の準備	1 担当窓口を明確にし、市民が相談に訪れやすい状況を作っていますか	<input type="checkbox"/>
	2 事業後援などの支援制度の内容やスケジュールを説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 わかりやすい言葉で説明していますか	<input type="checkbox"/>
	4 相談者の相談内容を把握し、アドバイスができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 関係する部署との連携ができましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民や地域との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民活動の民間助成支援制度など市民や地域が必要な情報を提供していますか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 市民や地域の取り組みの目的を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 また、上記取り組みに対する事業計画内容を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 上記の計画内容に対し、実施の方向に向けての必要な助言などを行いましたか	<input type="checkbox"/>
	4 取り組み計画に対し、遵守すべき法律等の確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	5 事業後援など書類提出の時期などについて説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民と地域との関わり方を再度確認しましたか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組みの途中経過等の状況を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 困っていることなどが無いかなど、声かけをしましたか	<input type="checkbox"/>
	3 必要があれば、イベントなどの現場へ訪れましたか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 市民や地域から活動の様子を伺いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 活動の様子を記録写真等で確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 市民や地域から、取り組みの感想等を聞きましたか	<input type="checkbox"/>
	4 市民や地域の取り組んだ方が、どんなことが大変だったとか、苦勞したことなどについて、情報共有ができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 事業後援など行政支援に関する報告書などの確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	6 全体を通じ、行政の対応についての意見を確認しましたか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト3-1> 市民や地域が行政と連携し取り組む場合(共催など)

段階	【CHECKする人(主語)】 市民・地域は・・・	CHECK欄
1.準備の準備	1 関係者で、何をどのようにしたいのか、意見を出し合いましたか。	<input type="checkbox"/>
	2 上記の話し合いで、取り組みたい方向性を関係者みんなで確認できましたか	<input type="checkbox"/>
	3 そのために、自分たちができること(活用できる備品や特技)などを確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	4 行政へ事業共催などについて相談しましたか	<input type="checkbox"/>
	5 事業共催の制度を理解し、スケジュールを把握しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 行政との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 取り組みの対象となる人の声を聞くなど、ニーズの把握を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組みの計画を立てましたか	<input type="checkbox"/>
	3 また上記計画に対する予算を立てましたか	<input type="checkbox"/>
	4 予算を確保する見込みがつかえましたか	<input type="checkbox"/>
	5 取り組む仲間と取り組み内容等の情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	6 また、取り組み開始時の課題や問題を把握していますか	<input type="checkbox"/>
	7 取り組む仲間同士で役割分担が明確にできましたか	<input type="checkbox"/>
	8 共催などの必要な書類を作成し、提出しましたか	<input type="checkbox"/>
	9 取り組みの対象となる人に取り組みの周知ができましたか	<input type="checkbox"/>
	10 自らが主体となり、準備は万全ですか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組み計画どおりに実施されていますか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組み内容に変更が生じた場合、関係機関(行政も含む)にすぐに相談していますか	<input type="checkbox"/>
	3 予算計画どおりに進められていますか	<input type="checkbox"/>
	4 活動途中で、取り組み状況について、関係者と情報共有ができていますか	<input type="checkbox"/>
	5 活動記録(写真等)を撮りましたか	<input type="checkbox"/>
	6 自らが進んで積極的に行動していますか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 取り組み計画のとおり実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	2 参加者に対して、アンケートをとるなど、取り組みを評価してもらいましたか	<input type="checkbox"/>
	3 関係者で取り組みについての反省をおこないましたか	<input type="checkbox"/>
	4 また上記の反省で良かった点や改善が必要な点が取り組んだ仲間と共有できましたか	<input type="checkbox"/>
	5 役割分担どおりに実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	6 補助金等の活動報告をしましたか	<input type="checkbox"/>
	7 共催などの活動報告をしましたか	<input type="checkbox"/>
	8 次回また取り組んでみようという気持ちはありますか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト3-2> 市民や地域が行政と連携し取り組む場合(共催など)

段階	【CHECKする人(主語)】 行政は……	CHECK欄
1.準備の準備	1 担当窓口を明確にし、市民が相談に訪れやすい状況を作っていますか	<input type="checkbox"/>
	2 事業共催などの支援制度の内容やスケジュールを説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 わかりやすい言葉で説明していますか	<input type="checkbox"/>
	4 相談者の相談内容を把握し、アドバイスができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 関係する部署との連携ができましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民や地域との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民活動の民間助成制度など市民や地域が必要な情報を提供していますか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 市民や地域の取り組みの目的を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 また、上記取り組みに対する事業計画内容を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 上記の計画内容に対し、実施の方向に向けての必要な助言などを行いましたか	<input type="checkbox"/>
	4 取り組み計画に対し、遵守すべき法律等の確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	5 事業後援など書類提出の時期などについて説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民や地域との関わり方を再度確認しましたか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組みの途中経過等の状況を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 困っていることなどが無いかなど、声かけをしましたか	<input type="checkbox"/>
	3 必要があれば、イベントなどの現場へ訪れましたか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 市民や地域から活動の様子を伺いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 活動の様子を記録写真等で確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 市民や地域から、取り組みの感想等を聞きましたか	<input type="checkbox"/>
	4 市民や地域の取り組んだ方が、どんなことが大変だったとか、苦勞したことなどについて、情報共有ができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 事業共催など行政支援に関する報告書などの確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	6 全体を通じ、行政の対応についての意見を確認しましたか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト4-1> 市民や地域が行政と委託等により取り組む場合〔委託・指定管理など〕

段階	【CHECKする人(主語)】 市民・地域は・・・	CHECK欄
1.準備の準備	1 関係者で、何をどのようにしたいのか、意見を出し合いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 上記の話し合いで、取り組みたい方向性を関係者みんなで確認できましたか	<input type="checkbox"/>
	3 そのために、自分たちができること(活用できる備品や特技)などを確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	4 行政に委託(指定管理)可能な業務の有無について確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	5 委託や指定管理の制度について理解できましたか、またスケジュールを把握しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 行政との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 行政が委託(指定管理)しようとしている業務内容を理解しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 委託(指定管理)内容に対する事業計画を立てましたか	<input type="checkbox"/>
	3 また上記計画に対する予算を立てましたか	<input type="checkbox"/>
	4 委託(指定管理)費以外に、必要な予算を確保する見込みがつかいましたか	<input type="checkbox"/>
	5 行政との役割分担をを再度確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 取り組む仲間に取り組み内容等が共有できていますか	<input type="checkbox"/>
	7 また、取り組み開始時の課題や問題を把握していますか	<input type="checkbox"/>
	8 取り組む仲間同士で役割分担が明確になっていますか	<input type="checkbox"/>
	9 委託(指定管理)に関する行政への提出書類を確認し、届出しましたか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組み計画書どおりに実施されていますか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組み内容に変更が生じた場合、関係機関(行政も含む)にすぐに相談していますか	<input type="checkbox"/>
	3 予算計画どおりに進められていますか	<input type="checkbox"/>
	4 活動途中で、取り組み計画等について、取り組む仲間と確認していますか	<input type="checkbox"/>
	5 活動記録(写真等)を記録していますか	<input type="checkbox"/>
	6 行政へ定期的に業務の経過を報告していますか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 取り組み計画のとおり実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	2 受託者や施設利用者等に対し、取り組みを評価してもらいましたか	<input type="checkbox"/>
	3 関係者で、取り組みについての反省をおこないましたか	<input type="checkbox"/>
	4 また上記の反省で良かった点や改善が必要な点が取り組んだ関係者で共有できましたか	<input type="checkbox"/>
	5 役割分担どおりに実施できましたか	<input type="checkbox"/>
	6 委託(指定管理)業務の活動報告をしましたか	<input type="checkbox"/>
	7 また、委託(指定管理)費の請求を行いましたか	<input type="checkbox"/>

<チェックリスト4-2> 市民や地域が行政と委託等により取り組む場合(委託・指定管理など)

段階	【CHECKする人(主語)】 行政は……	CHECK欄
1.準備の準備	1 担当窓口を明確にし、市民が相談に訪れやすい状況を作っていますか	<input type="checkbox"/>
	2 委託や指定管理などの制度の内容やスケジュールを説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 わかりやすい言葉で説明していますか	<input type="checkbox"/>
	4 相談者の相談内容を把握し、アドバイスができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 関係する部署との連携ができましたか	<input type="checkbox"/>
	6 市民や地域との関わり方を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民活動の民間助成制度など市民や地域が必要な情報を提供していますか	<input type="checkbox"/>
2.準備	1 市民や地域の取り組みの目的を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	2 また、上記取り組みに対する事業計画内容(予算を含む)を確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 上記の計画内容に対し、実施の方向に向けての必要な助言などを行いましたか	<input type="checkbox"/>
	4 取り組み計画に対し、遵守すべき法律等の確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	5 委託(指定管理)に必要な書類や提出時期などについて説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	6 委託(指定管理)費の支払時期(中間払を含む)について説明しましたか	<input type="checkbox"/>
	7 市民や地域との関わり方を再度確認しましたか	<input type="checkbox"/>
3.実施	1 取り組みの途中経過等について定期的に状況の確認をしていますか	<input type="checkbox"/>
	2 困っていることなどが無いかなど、声かけをしましたか	<input type="checkbox"/>
	3 困っていることなどについて、アドバイスなど必要な支援をしましたか	<input type="checkbox"/>
	4 必要に応じて、委託(指定管理)の現場を訪れましたか	<input type="checkbox"/>
4.評価	1 市民や地域から取り組みの結果等を伺いましたか	<input type="checkbox"/>
	2 取り組みの様子を記録写真等で確認しましたか	<input type="checkbox"/>
	3 市民や地域から、取り組みの感想等を聞きましたか	<input type="checkbox"/>
	4 市民や地域の取り組んだ方が、どんなことが大変だったとか、苦勞したことなどについて、情報共有ができましたか	<input type="checkbox"/>
	5 実績報告書(決算書)などの確認を行いましたか	<input type="checkbox"/>
	6 全体を通じ、行政の対応についての意見を確認しましたか	<input type="checkbox"/>

おわりに・・・

協働を推進することにより、市民や地域、そして行政にも様々な効果が得られます。今後、さらに協働を推進していくには、取り組みの検証が不可欠になります。

行政の各部署が協働の取り組みを自己点検し、市民や地域が参画した会議等で検証を行い、改善策や要望などをフィードバックしていくことが重要になります。

協働の取り組みはもちろん、その取り組みをよりよいものするためにご活用していただくこの手引きについても、今後は、使いやすいものにするために市民や地域のみなさんと一緒に見直していきます。

地域の課題は、同じようではありますが、中津川市内といっても南北に長く自然環境や交通事情が異なることや、住んでいる人の生活スタイルの違いもあり考え方も異なることなどから、課題や問題点が何であるかは、それぞれの地域等ごとに違ってきます。

地域ごとや、地域内などで集まった人たち同士で、課題を共有した上で、理想の姿に近づけるにはどうしたらいいかななどを皆さんで考えることが大切であり、その行動こそが、協働の第1歩となります。

関係する人たちとの間で話し合いを続け、互いの強みと弱みを理解し、できることを考えまどめてみましょう、そして行動にあたりこの手引きを活用してみましょう。



関連資料

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 委員会の要綱 | 24 ページ |
| 2. 市民協働指針策定委員会 名簿 | 25 ページ |
| 3. 指針策定のプロセス（取り組み概要） | 26 ページ |
| 4. 生き生きとした地域づくりのイメージ | 27 ページ |
| 5. 中津川市地域づくり相関図 | 28 ページ |
| 6. 目指している中間支援組織のイメージ | 29 ページ |



中津川市の協議会等の設置等に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、中津川市の協議会等（以下「協議会等」という。）の設置等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 別表に定めるところにより、協議会等を設置する。

(組織)

第3条 協議会等は、別表に定める委員定数により組織する。

(任期)

第4条 協議会等の委員の任期は、別表に定めるところとする。ただし、再任を妨げない。

2 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第5条 協議会等に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員のうちから互選する。

3 会長は、会務を総理し、協議会等を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 議決事項を審議するため開催する協議会等の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 議決事項を審議するため開催する協議会等の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 議決事項を審議するため開催する協議会等の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 協議会等の庶務は、別表に定める課等において処理するものとする。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会等の運営について必要な事項は、別に定める。

別表（第2条—第4条、第7条関係）

委員会等の名称	担任する事項	委員の任期	委員の定数	委員選任の基準	庶務担当課等の名称
市民協働指針策定委員会	(1) 指針策定について意見を述べること。 (2) 協働指針について意見を述べること。 (3) 中間支援組織の設置について意見を述べること。	市長の定める期間	12人以内	(1) 識見を有するもの (2) 市民活動団体の代表 (3) 地域づくり組織の代表等	定住推進部 市民協働課

中津川市市民協働指針策定委員 名簿

(任期:平成26年10月8日 ～ 平成27年9月30日)

NO	区分	氏名	選出母体等	備考
1	見識を有する者	駒宮 博男	ぎふNPOセンター	
2		加藤 雄一郎	H25中津川市総合計画審議会委員 (H25 中津川市PTA連合会会長)	
3		古田 甲	中津川市社会福祉協議会	
4	市民活動団体	波多野 大輔	中津川青年会議所	
5		高橋 えつ子	すくすくわくわくまあるいこころ	
6		大鋸 伸行	本町商店街振興組合	
7	まちづくり組織	磯部 元俊	苗木地域まちづくり推進協議会	
8		大前 勝行	坂下まちづくり協議会	
9		林 まゆみ	蛭川ひらめきレディース	
10	NPO等	曾我 宣之	NPO法人パイオニア	
11		川瀬 俊作	中津川市消防団	
12		吉村 知訓	NPOアドラージ	

市民協働指針 策定のプロセス

《 策定委員会の共通認識 》 『 掲げるものではなく、使える 』 指針にしよう。

	セッションテーマ	具体的な内容	備考
第1回 H26.10.8	① 協働とは何か？ ② 協働の実際の風景	・委員の役割、任務 ・市民協働指針策定の市の考え方 ・新総合計画の説明 ・協働とは何か、委員の考えを共有 ・委員の経験を踏まえた協働のポイント	情報の共有 方向性の確認
第2回 H26.11.14	③ 成功する協働のポイント ④ 協働の役割分担はどう行うのか	・協働の取り組みの掘り下げ作業 ・行政との協働、地域内の協働(仕分け) ・準備の準備から実施までのポイント ・チェックリスト項目の洗い出し ・行政の強み、地域の強みの洗い出し	協働のポイント チェックリストの 洗い出し
第3回 H26.12.15	⑤ 今、中津川で求められている動きとは ⑥ 求められる協働を前進させるためには	・協働のチェックリストの確認作業 ・旧市・恵北で別れて中津川市で求められている動きについて議論 ・協働を前進させるための取組を行政、支援組織、市民の括りで洗い出し	成功する協働 のポイント
第4回 H27.1.23	⑦ 議論をまとめる	・これまでの議論を踏まえてまとめた指針について議論	素案の作成
	○ 庁議 ○ パブリックコメント	・内容の確認 ・庁議後、パブリックコメント	
第5回 H27.2.23	⑧ 指針を活用するためには	・完成後の指針の周知方法と協働推進の意識改革について議論	指針の活用 (意見交換)
第6回 H27.3.11	⑨ 赤ペンをもって、パブコメを読む ⑩ 協働の指針案を固める	・パブコメ内容の確認 ・26年度の取り組みの振り返り	指針の完成

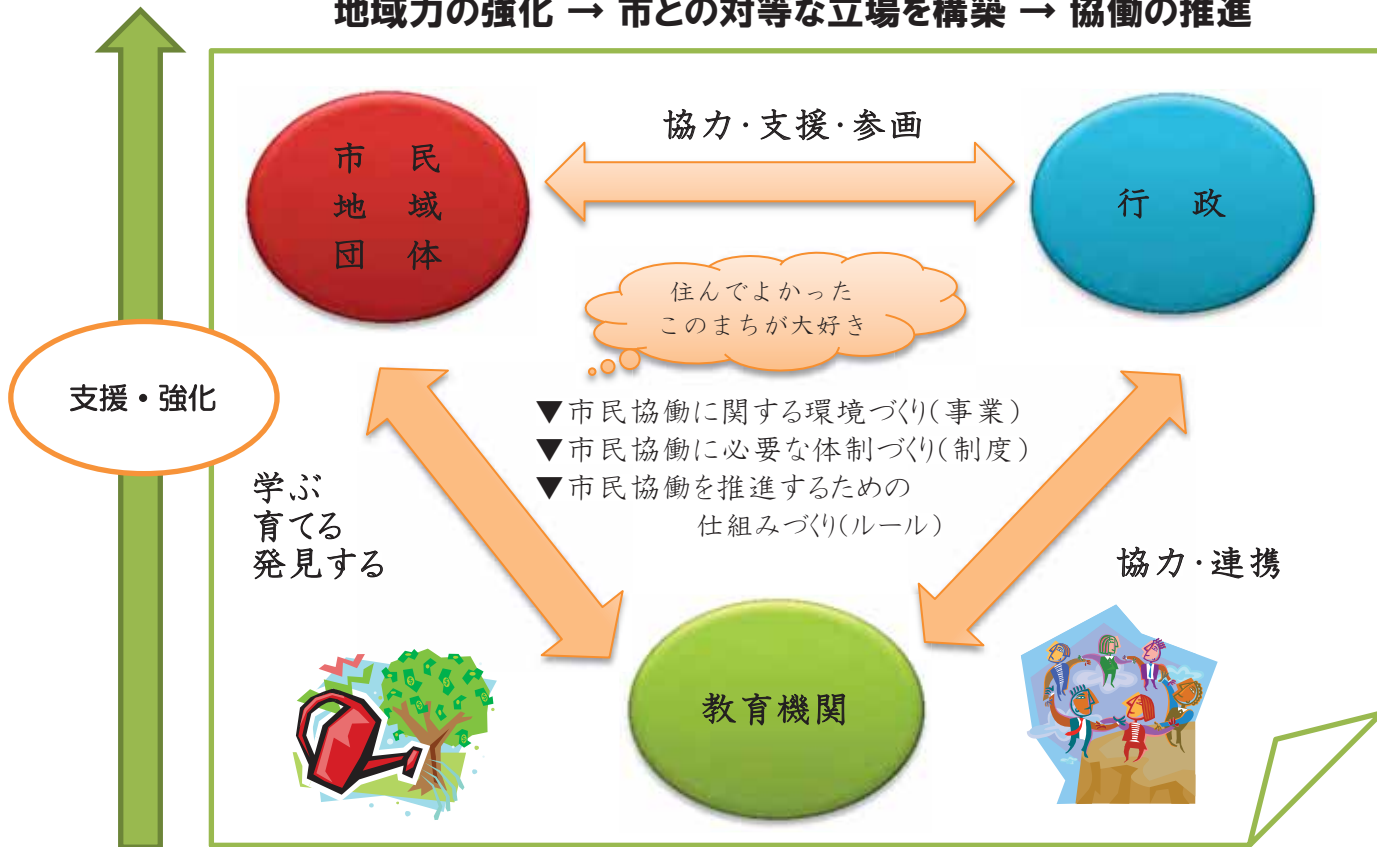
《 策定委員会の様子 》



めざす姿

～ 地域の特性を踏まえた地域の自主・自立化 ～
 ・ 自助・共助・公助の役割分担が明確なまちづくり
 ・ 協働によるまちづくり

地域力の強化 → 市との対等な立場を構築 → 協働の推進



地域への期待

- リニアのまちづくりビジョン
- 農業振興ビジョン、林業振興ビジョン
- 災害に強いまちづくり、避難所マニュアル
- 公共施設マスタープラン
- 空家対策、地域交通維持対策
- 協働の生活環境づくり など

地域現状とのギャップ

地域現状

地域自治組織の課題

- ・ 地域を担うリーダーの不足
- ・ 区長業務の増大、役員の高齢化

地域づくり協議会の課題

- ・ 組織の担い手、後継者不足
- ・ 活動拠点、職員配置の格差
- ・ 運営するための財源確保
- ・ 組織が自立化していない



社会情勢

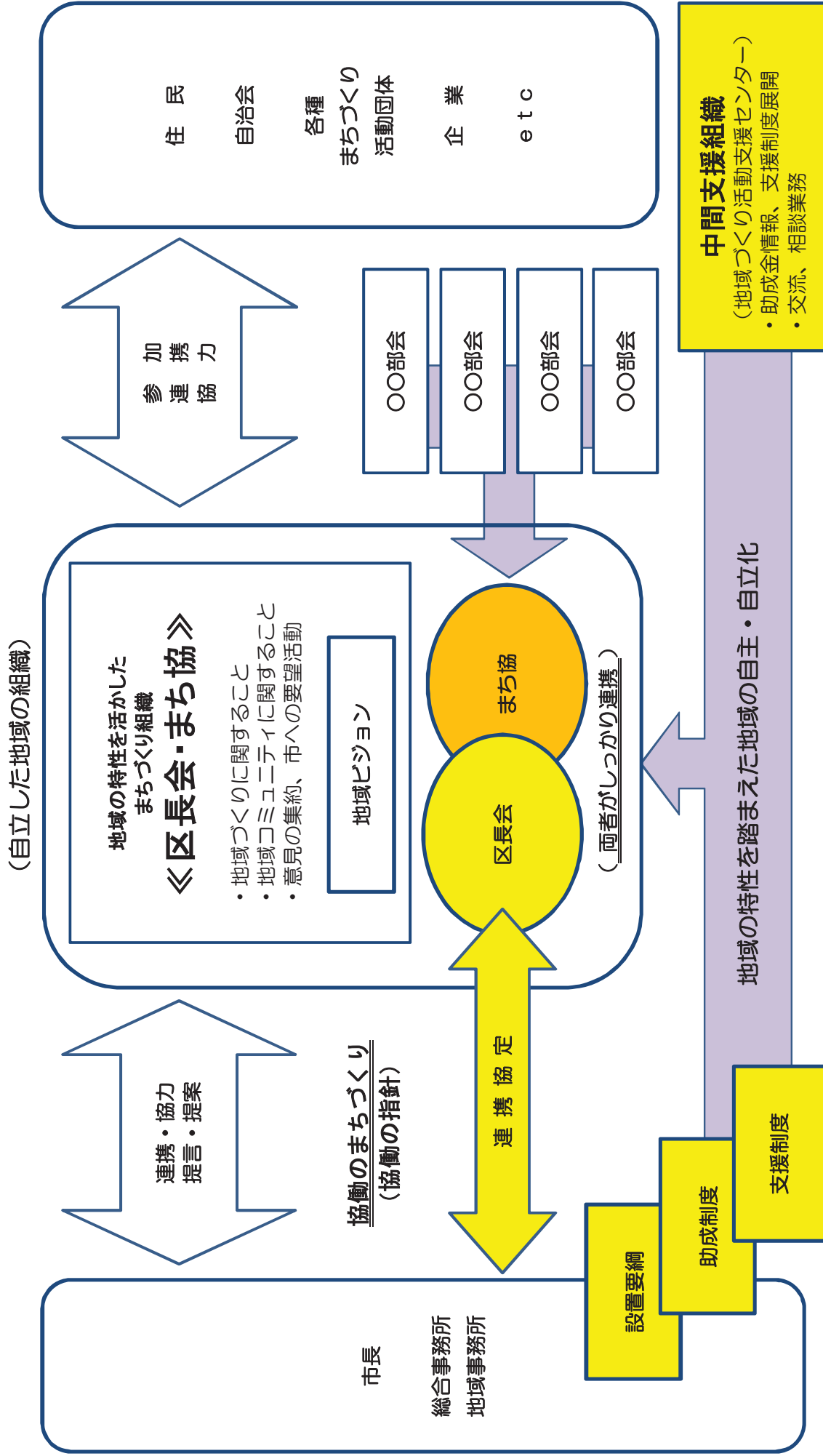
社会

- ・ 過疎 ・ 少子化 ・ 核家族化
- ・ コミュニティの希薄化

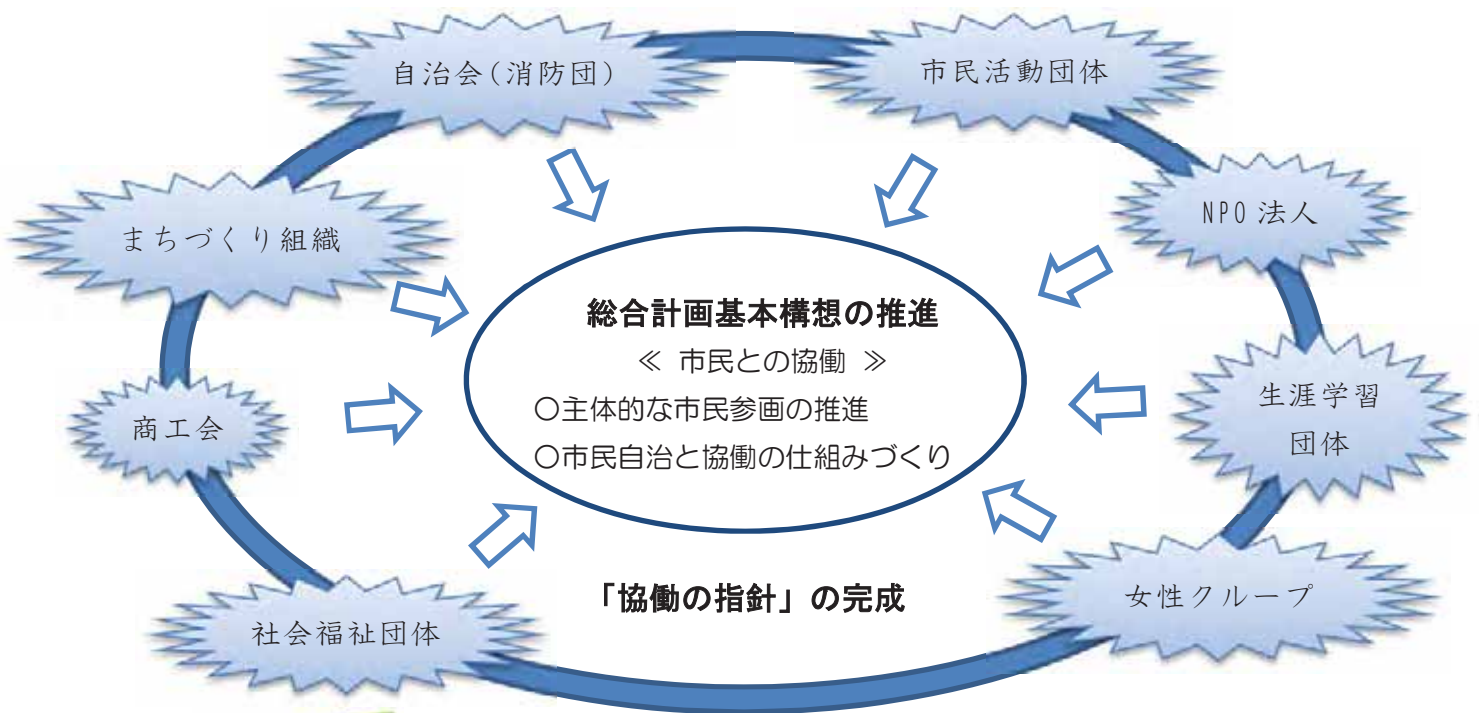
行政

- ・ 厳しい財政事情
- ・ 多様な市民ニーズの反映

■ 中津川市地域づくり相関図



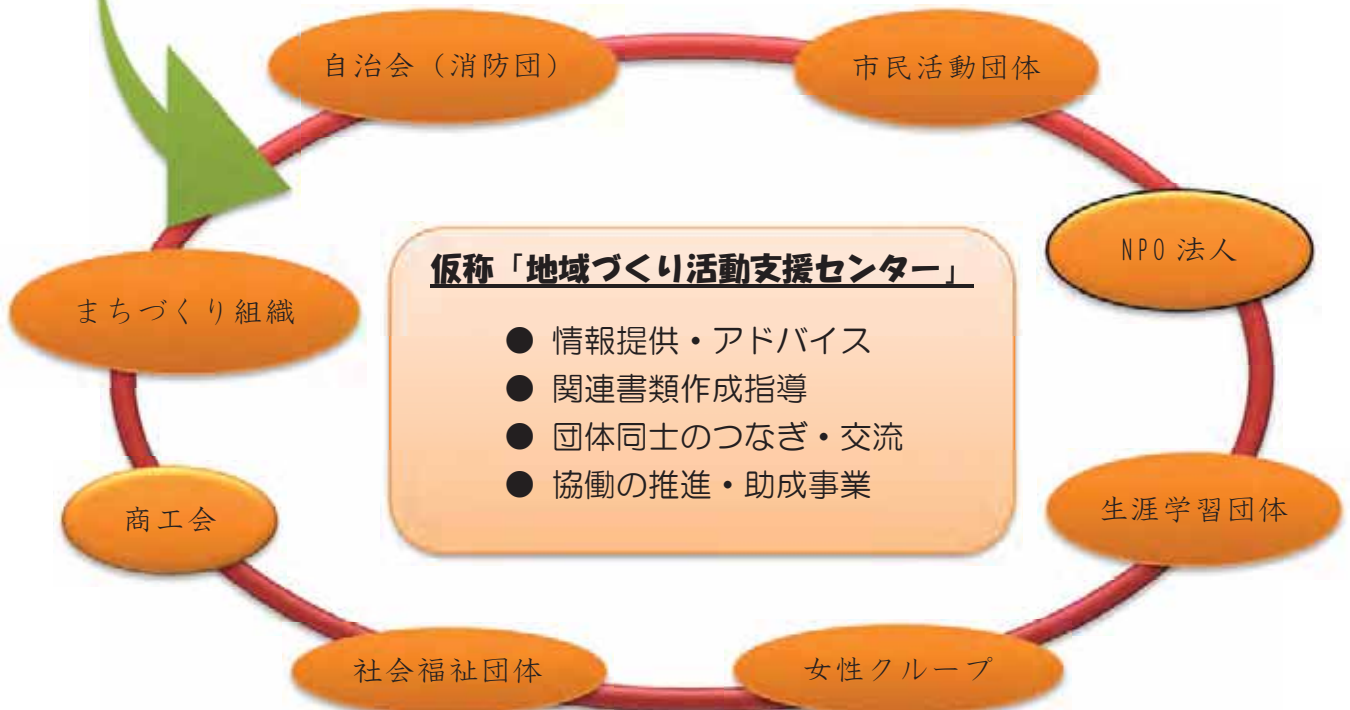
目指している中間支援組織<イメージ>



協働のまちづくり（役割分担）

- まちづくりは、地域が主体となっていく
- 地域（団体）への支援は、中間支援組織が担う。
- 行政は、地域への支援制度・施策の充実を図る

民の力



地域の特性を踏まえた地域の自主・自立化

【仮称】「地域づくり活動支援センター」の役割について

役割の種類

● 学ぶ・育つ

- ・ 団体活動をこれから参加しようと考えている人、団体を設立・運営したい人、団体活動をより発展させたい人など各レベルに合わせた講座や研修を実施する

● つながる

- ・ 市民と市民、市民と行政、行政と企業などの間に立ち、パイプ役を担う

● 相談する

- ・ 団体の設立、情報発信、資金調達、申請等、これから活動を始める人や活動を継続するための方向性を共に検討していく、またそのためのアドバイスを行う

● 情報を得る

- ・ 団体活動の状況、イベント情報の提供や、各種助成金やセミナーの案内といった情報の発信を行う

● 協働を推進する

- ・ 多様な活動団体が協働に参加しやすい場の提供、機会づくりなどを積極的に取り組む

<イメージ>

仮称「地域づくり活動支援センター」

自助・共助・公助の役割
分担を理解をえて、自立
した活動を支援していく。

学ぶ・育つ

講座や研修の実施

つながる

市民と行政や企業のパイプ役を担う

相談する

活動の方向性やアドバイスを行う

情報を得る

各種情報の発信

協働を推進する

講座や研修の実施

がんばる地域サポート事業の公募・審査